

沖縄県南風原町  
医療法人 ネプロス  
吉クリニック

吉クリニック様の工事受注は、最初は他社でやることになっていましたが、わが社の提案内容が認められて、引き受けることができました。お客様のニーズを考慮に入れながら良い器具を提供しようと努力した結果でした。特に透析室に対しては、長時間、横になって治療を受けられる患者さんがいらっしゃるの、眩しくもなく暗くもなく、適度な照度設定にしています。緻密な照度計算を事前に行って、ドーム形の天井面に照明を反射させて平均500lxの照度を確保しています。患者さんがリラックスできる透析室に仕上がったと、すっかり吉クリニック様にも満足していただきました。また処置室の方も、1時間以上横になる患者さんがいるとのことで、処置灯には調光可能なLEDダウンライトを提案して採用されました。



施工担当者：  
沖電水工事(株) 工事部課長  
當山 雅治さん

より良い器具を提供しようと努力した結果、提案内容が認められて受注ができました。お客様の表情にたいへん満足しています。



どこが自慢!

透析室

天井面への反射率を利用した  
柔らかな間接光

緻密な照度計算により、中央のドーム形天井と部屋両サイドの折り上げ部分にトラフ器具を配し、平均500lxの照度を確保しています。



FT-41001K

■施工物件 医療法人 ネプロス 吉クリニック

■施設の概要

所在地：那覇市南風原町神里495番地  
延床面積：1,026㎡  
構造・規模：鉄筋コンクリート造、2階建  
設計：(有)セゾン社  
施工/建築：(株)波嘉敷組  
電気：沖電水工事(株)  
竣工：平成18年6月





ここが自慢!

処置室

心が落ち着けるよう調光形の  
ダウンライトを採用

一般的には処置灯はハロゲン光が多いのに対し、設計者との話し合いで明るさの加減が自由にできる調光形のミニクリプトンダウンライトを取り付けました。



ID-7100N (W)

お施主様からひとこと

冷たい感じを  
暖かい雰囲気に変えるには、  
照明の力は大事です。



医療法人 ネプロス  
吉クリニック  
専務理事 事務長  
松原 隆様

一昨年6月にオープンした当クリニックは、人工透析を中心に地域に密着した医療サービスを提供しています。病院施設は蛍光灯1本で冷たい雰囲気になるがちですが、その冷たい感じを暖かい雰囲気に変化させるには、実は照明の力が絶大であると私は感じます。今回の設計では、その辺りを重視するようプランニングをお願いしました。仕上がりにについては、要所所にスポットライトを効果的に配置していただき、デザイン的にも満足しています。透析室は、4~5時間も患者様がベッドに横たわって人工透析を行うので、真上に照明を置いてもいけないですから、間接照明と外光を利用した明るさで、とても良い雰囲気に仕上がったと思います。



ここが自慢!

診察室

カバー付器具で  
明るく落ち着いた診察室に

FHF32W2灯用乳白フラットタイプを採用した診察室は、ソフトな明るさの雰囲気に仕上げました。



FHR-42939K-PN



ここが自慢!

ロビー受付

小形スクエア器具で  
イキイキとした明るさ感

FHP23W2灯用スクエア器具と電球色ダウンライトとの組合せによって、バランスのとれた室内空間になっています。



FHR-22714K-PN



東芝ライテック(株)からのワンポイントアドバイス!

病院施設にお勧めする  
照明のポイント

- know-how ① 患者さんへの不快な眩しさを低減した遮光角45°設計の照明
- know-how ② 省エネでかつメンテナンスの手間が半減できる長寿命な光源
- know-how ③ 働く側の診察や作業を考慮した適切な照度の確保

病棟部門をはじめ、このような器具が療養環境をサポートします。

ホスピタルダウンライト(遮光角45°タイプ)



FHD-21300-PM9

病室内や談話スペースなどへお勧めしたいダウンライトです。遮光角45°設計でグレアを制御して、患者さんへ不快な眩しさを与えないあかり空間を実現します。

LED常夜灯



LEDD-00002-LS1

LEDランプの搭載で長寿命です。またホスピタルダウンライトと同様、遮光角45°設計で患者さんの睡眠を妨げないように眩しさを低減させます。